

二十一世紀を目ざして

行政改革懇談会初会合

十一月二十二日、役場会議室で行政改革懇談会が開かれまし
た。

十五日から職務に復帰した行政改革推進本部長の馬場町長も
あいさつの中で力強く行革につ
いての抱負を述べました。

この懇談会は、最近の複雑、
多様化する行政需要等に対応し
ながら町政の活性化と住民福祉
の増進を図るため、行政の簡素

十一月二十二日、役場会議室
化、効率化等あらゆる面から検
討、審議し、光町をより良い町
にしていこうという趣旨のもと
に行われるものです。

この日、次のような町行政改
革大綱の案が提示されました。

- ① 事務事業の見直し
- ② 組織・機構の簡素合理化
- ③ 給与の適正化
- ④ 定員管理の適正化
- ⑤ 役場業務の一部民間委託・O
A化等事務改
革の推進
- ⑥ 会館等公共
施設の設置及
び管理運営の
合理化等



有識者から
成る十名の委
員さんの中か
ら、会長に鈴
木三郎さん、
副会長に青柳
一夫さんが選
ばれ、鈴木会
長の進行で活
発な意見が
わさわわいま
した。



「サケ」

今年も

ふるさとに

さざんかが咲き始め、毎朝の
霜が心配になるころ、栗山川で
は今年もサケが産卵に帰って来
ます。十月十二日、今年初めて
刺し網を、十五日には定置網を
入れ、捕獲員の方がたは朝早く
から、何匹帰って来たかを楽し
みに捕獲に精を出しています。

捕獲されたサケは、体長・重
量を測定してから、うろこを取
り生後何年達っているかを調べ、
めすについては採卵し、人工ふ
化します。

今年帰って来たサケは、十一
月二十七日現在で二〇〇匹。
普通四年〜五年で帰って来る
そうです。

サケのふるさと栗山川をみんな
の手で澄みきった川にし、長い
旅を続けて来たサケを迎えてあ
げたいですね。

文化の日表彰

畔蒜 義衛さん
藤城 博さん

県政功労受賞

お二方は、長年にわたり、千葉県の発展に大きく貢献され
た功績が認められたため、文化の日表彰を受賞されました。
おめでとうございました。



・土木功労
畔蒜 義衛さん



・交通安全功労
藤城 博さん

現在、県建設業協会副会長と
して、土木振興にご尽力をいた
だいております。

現在、八日市場交通安全協会
長として、交通安全にご尽力を
いただいております。

手踊りもあでやかに

妙見神社改修なる

妙見様として親しまれている
尾垂五区の妙見神社改修工事が
完成し、十一月十七日に遷座式
が行われました。

晩秋の野辺におはやしの笛・
太鼓がひびき、ご婦人方の手踊
りと続く行列は、人々の喜びを
大いに現わしていました。

妙見様といえど中世の豪族千
葉氏というほどつながりの強い
ものです。千葉氏は、守神とし

て一族の支配地に妙見社を建て
ています。尾垂もその頃は、千
葉氏の流れを組む椎名氏の支配
地であったとか。昭和二十六年
に火災に遇ったのが惜まれます。

